

平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮城県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	循環器・呼吸器病センター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）	2	大崎市	大崎市民病院岩出山分院	20
-	精神医療センター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）	3	大崎市	大崎市民病院鹿島台分院	21
-	がんセンター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）	4	蔵王町	蔵王町国民健康保険蔵王病院	22
-	こども病院（地方独立行政法人宮城県立こども病院）	5	川崎町	国民健康保険川崎病院	23
仙台市	市立病院	6	丸森町	丸森町国民健康保険丸森病院	24
石巻市	石巻市立病院	7	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院	25
石巻市	石巻市立牡鹿病院	8	美里町	美里町立南郷病院	26
塩竈市	塩竈市立病院	9	女川町	女川町立病院	27
気仙沼市	気仙沼市立病院	10	南三陸町	南三陸病院	28
気仙沼市	気仙沼市立本吉病院	11	白石市外二町組合	公立刈田総合病院	29
登米市	登米市立登米市民病院	12	黒川地域行政事務組合	公立黒川病院	30
登米市	登米市立米谷病院	13	加美郡保健医療福祉行政事務組合	公立加美病院	31
登米市	登米市立豊里病院	14	みやぎ県南中核病院企業団	みやぎ県南中核病院	32
栗原市	栗原市立栗原中央病院	15			
栗原市	栗原市立若柳病院	16			
栗原市	栗原市立栗駒病院	17			
大崎市	大崎市民病院	18			
大崎市	大崎市民病院鳴子温泉分院	19			

病院事業決算状況 (30 年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	循環器・呼吸器病センター (地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,083,058,659	
標準財政規模(千円)	469,783,353	
財政力指数	0.62902	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	164.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,238			
1 経常収益	11,238			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	11,238			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,238			
2 経常費用	11,238			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,238			
(うち支払利息)	11,238	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,083,058,659	
標準財政規模(千円)	469,783,353	
財政力指数	0.62902	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	164.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,134			
1 経常収益	7,134			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	7,134			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,134			
2 経常費用	7,134			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	96.0
材料費	-	-	24.1	8.6
(うち薬品費)	-	-	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	1.0
減価償却費	-	-	9.2	12.5
経費	-	-	23.2	34.0
(うち委託料)	-	-	11.3	16.5
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	7,134			
(うち支払利息)	7,134	-	1.6	3.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	100.0
医業収支比率	-		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	66.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資金不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	がんセンター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,083,058,659	
標準財政規模(千円)	469,783,353	
財政力指数	0.62902	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	164.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	94,767			
1 経常収益	94,767			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	94,767			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	94,767			
2 経常費用	94,767			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	57.1
材料費	-	-	24.1	23.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.4
減価償却費	-	-	9.2	9.5
経費	-	-	23.2	22.0
(うち委託料)	-	-	11.3	10.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	94,767			
(うち支払利息)	94,767	-	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	こども病院(地方独立行政法人宮城県立こども病院)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,083,058,659	
標準財政規模(千円)	469,783,353	
財政力指数	0.62902	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	164.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	93,865			
1 経常収益	93,865			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	93,865			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	93,865			
2 経常費用	93,865			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	29.9
(うち委託料)	-	-	11.3	12.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	93,865			
(うち支払利息)	93,865	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	仙台市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	52,286 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	467	84.9	83.9	80.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	31.3	29.4	19.8
感染症	8	3.3	3.0	3.7
計	525	78.5	77.5	73.5
平均在院日数（一般病床のみ）		9.5	9.6	9.7

設立団体の状況		
人口（人）	1,082,159	
決算規模（千円）	499,855,712	
標準財政規模（千円）	276,712,919	
財政力指数	0.91	
経常収支比率（%）	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.2
	将来負担比率（%）	85.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	83.5
修正医業収支金額（千円）	14,436,878

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,791,412			
1 経常収益	16,790,814			
(1) 医業収益	15,398,066			
入院収益	10,962,204			
外来収益	3,275,207			
診療収入計	14,237,411			
その他医業収益	1,160,655			
(うち他会計負担金)	961,188			
(2) 医業外収益	1,392,748			
(うち国・都道府県補助金)	63,196			
(うち他会計補助・負担金)	997,259			
(うち長期前受金戻入)	100,121			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	598			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,227,285			
2 経常費用	18,091,957			
(1) 医業費用	17,283,884			
職員給与費	8,822,605	57.3	56.0	49.8
材料費	3,463,180	22.5	24.1	28.0
(うち薬品費)	1,237,885	8.0	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,225,295	14.5	11.1	12.8
減価償却費	1,648,352	10.7	9.2	8.3
経費	3,266,860	21.2	23.2	20.7
(うち委託料)	1,647,526	10.7	11.3	11.4
研究研修費	77,195			
資産減耗費	5,692			
(2) 医業外費用	808,073			
(うち支払利息)	271,222	1.8	1.6	1.4
(3) 特別損失	135,328			
損益				
経常損益	-1,301,143			
純損益	-1,435,873			
累積欠損金	8,626,403			
経常収支比率	92.8		98.2	99.5
医業収支比率	89.1		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	82.0		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	32,387,657
1 固定資産	27,609,397
(1) 有形固定資産	27,425,919
(2) 無形固定資産	183,478
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	4,778,260
(1) 現金及び預金	2,367,134
(2) 未収金及び未収収益	2,408,441
(3) 貸倒引当金（ ）	59,899
(4) 貯蔵品	61,969
3 繰延資産	-
負債合計	27,965,584
1 固定負債	23,171,286
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,944,117
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,227,169
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,451,762
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,344,069
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	552,734
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,483,668
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,342,536
(1) 長期前受金	2,104,879
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	762,343
資本合計	4,422,073
1 資本金	13,048,476
2 剰余金	-8,626,403
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,626,403
負債・資本合計	32,387,657
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,826,035	1,958,447
資本勘定繰入	719,702	822,668
計	2,545,737	2,781,115

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	56.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	石巻市
	病院名	石巻市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,921 m ²	指定病院の状況	救 感 輪
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	30年度	29年度	28年度
一 般	140	75.9	73.2	61.0
療 養	40	64.5	31.4	0.6
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	180	73.4	63.9	47.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	17.5	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	147,214	
決算規模(千円)	208,185,348	
標準財政規模(千円)	39,321,082	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	99.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区 分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	4,470,780			
1 経 常 収 益	4,434,614			
(1) 医 業 収 益	2,467,411			
入 院 収 益	1,714,919			
外 来 収 益	475,708			
診 療 収 入 計	2,190,627			
そ の 他 医 業 収 益	276,784			
(うち他会計負担金)	206,157			
(2) 医 業 外 収 益	1,967,203			
(うち国・都道府県補助金)	2,496			
(うち他会計補助・負担金)	1,047,034			
(うち長期前受金戻入)	849,408			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	36,166			
(うち他会計繰入金)	36,166			
総 費 用	4,403,818			
2 経 常 費 用	4,392,398			
(1) 医 業 費 用	4,202,331			
職 員 給 与 費	1,713,566	69.4	56.0	61.8
材 料 費	477,864	19.4	24.1	17.7
(うち薬品費)	115,815	4.7	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	362,049	14.7	11.1	8.2
減 価 償 却 費	863,161	35.0	9.2	10.4
経 理 費	1,133,366	45.9	23.2	29.9
(うち委託料)	606,535	24.6	11.3	12.9
研 究 研 修 費	12,359			
資 産 減 耗 費	2,015			
(2) 医 業 外 費 用	190,067			
(うち支払利息)	86,711	3.5	1.6	1.7
(3) 特 別 損 失	11,420			
損 益				
経 常 損 益	42,216			
純 損 益	66,962			
累 積 欠 損 金	6,076,023			
経 常 収 支 比 率	101.0		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	58.7		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	28.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	50.8		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	28.8		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	72.4		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区 分	決算額
資 産 合 計	14,361,552
1 固 定 資 産	13,540,934
(1) 有 形 固 定 資 産	13,540,934
(2) 無 形 固 定 資 産	-
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	-
2 流 動 資 産	820,618
(1) 現 金 及 び 預 金	253,944
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	525,337
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	-
(4) 貯 蔵 品	41,337
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	17,375,811
1 固 定 負 債	3,467,052
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,043,724
(2) そ の 他 の 企 業 債	423,328
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	1,029,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	356,692
(2) そ の 他 の 企 業 債	46,166
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	145,102
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	250,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	227,936
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	12,878,804
(1) 長 期 前 受 金	16,378,847
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	3,500,043
資 本 合 計	-3,014,259
1 資 本 金	3,619,328
2 剰 余 金	-6,633,587
(1) 資 本 剰 余 金	-
(2) 利 益 剰 余 金	-6,633,587
負 債 ・ 資 本 合 計	14,361,552
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	3,014,259
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	53.8
修正医業収支金額(千円)	2,261,254

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	587,541	1,289,357
資本勘定繰入	215,442	487,746
計	802,983	1,777,103

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	237.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	276,073
地財法上の資金不足比率(%)	9.8

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	石巻市
	病院名	石巻市立牡鹿病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,588 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	3	看護配置	その他
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	25	40.6	32.0	30.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	40.6	32.0	30.8
平均在院日数（一般病床のみ）		20.7	14.9	13.3

設立団体の状況		
人口（人）	147,214	
決算規模（千円）	208,185,348	
標準財政規模（千円）	39,321,082	
財政力指数	0.53	
経常収支比率（%）	99.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.5
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	39.1
修正医業収支金額（千円）	248,092

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	589,088			
1 経常収益	589,088			
(1) 医業収益	328,881			
入院収益	49,514			
外来収益	187,738			
診療収入計	237,252			
その他医業収益	91,629			
(うち他会計負担金)	80,789			
(2) 医業外収益	260,207			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	206,433			
(うち長期前受金戻入)	43,910			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	655,025			
2 経常費用	652,008			
(1) 医業費用	634,217			
職員給与費	248,142	75.5	56.0	81.3
材料費	120,074	36.5	24.1	14.4
(うち薬品費)	107,866	32.8	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,398	3.5	11.1	5.1
減価償却費	65,290	19.9	9.2	13.4
経費	199,687	60.7	23.2	47.5
(うち委託料)	65,943	20.1	11.3	20.0
研究研修費	1,024			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	17,791			
(うち支払利息)	178	0.1	1.6	1.4
(3) 特別損失	3,017			
損益				
経常損益	-62,920			
純損益	-65,937			
累積欠損金	557,564			
経常収支比率	90.3		98.2	96.3
医業収支比率	51.9		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	48.8		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	87.3		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	48.8		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	46.3		86.0	64.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	14,361,552
1 固定資産	13,540,934
(1) 有形固定資産	13,540,934
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	820,618
(1) 現金及び預金	253,944
(2) 未収金及び未収収益	525,337
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	41,337
3 繰延資産	-
負債合計	17,375,811
1 固定負債	3,467,052
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,043,724
(2) その他の企業債	423,328
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,029,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	356,692
(2) その他の企業債	46,166
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	145,102
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	250,000
(8) 未払金及び未払費用	227,936
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,878,804
(1) 長期前受金	16,378,847
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	3,500,043
資本合計	-3,014,259
1 資本金	3,619,328
2 剰余金	-6,633,587
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-6,633,587
負債・資本合計	14,361,552
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	3,014,259
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	413,563	287,222
資本勘定繰入	11,055	37,109
計	424,618	324,331

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	237.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	276,073
地財法上の資金不足比率（%）	9.8

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	塩竈市
	病院名	塩竈市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,495 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	123	81.8	84.4	83.8
療養	38	78.6	88.4	93.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	81.1	85.4	86.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.2	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	54,187	
決算規模(千円)	23,553,735	
標準財政規模(千円)	12,147,520	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.5
修正医業収支金額(千円)	2,213,932

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,922,081			
1 経常収益	2,921,991			
(1) 医業収益	2,391,307			
入院収益	1,436,054			
外来収益	626,120			
診療収入計	2,062,174			
その他医業収益	329,133			
(うち他会計負担金)	177,375			
(2) 医業外収益	530,684			
(うち国・都道府県補助金)	4,834			
(うち他会計補助・負担金)	445,491			
(うち長期前受金戻入)	63,002			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	90			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,920,975			
2 経常費用	2,918,771			
(1) 医業費用	2,857,952			
職員給与費	1,476,172	61.7	56.0	61.8
材料費	336,722	14.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	175,953	7.4	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	129,486	5.4	11.1	8.2
減価償却費	132,694	5.5	9.2	10.4
経費	903,727	37.8	23.2	29.9
(うち委託料)	277,186	11.6	11.3	12.9
研究研修費	5,090			
資産減耗費	3,547			
(2) 医業外費用	60,819			
(うち支払利息)	1,535	0.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	2,204			
損益				
経常損益	3,220			
純損益	1,106			
累積欠損金	3,425,594			
経常収支比率	100.1		98.2	96.7
医業収支比率	83.7		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	26.0		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	21.3		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	78.8		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,758,501
1 固定資産	1,336,401
(1) 有形固定資産	1,336,255
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	422,100
(1) 現金及び預金	22,162
(2) 未収金及び未収収益	387,469
(3) 貸倒引当金()	68
(4) 貯蔵品	12,537
3 繰延資産	-
負債合計	1,578,549
1 固定負債	389,709
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	382,278
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	6,500
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	931
2 流動負債	510,640
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,863
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	6,500
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	95,000
(6) リース債務	3,475
(7) 一時借入金	120,000
(8) 未払金及び未払費用	164,081
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	678,200
(1) 長期前受金	900,526
(2) 長期前受金収益化累計額()	222,326
資本合計	179,952
1 資本金	3,593,643
2 剰余金	-3,413,691
(1) 資本金剰余金	11,903
(2) 利益剰余金	-3,425,594
負債・資本合計	1,758,501
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	249,753	622,866
資本勘定繰入	53,514	56,139
計	303,267	679,005

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	95,725	3.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	143.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	気仙沼市
	病院名	気仙沼市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,908 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
診療科数	18	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	336	77.9	65.3	63.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	10.1	-	-
計	340	77.1	64.6	62.7
平均在院日数（一般病床のみ）		13.9	12.9	12.4

設立団体の状況		
人口（人）	64,988	
決算規模（千円）	81,275,961	
標準財政規模（千円）	18,062,879	
財政力指数	0.45	
経常収支比率（%）	102.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.3
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	74.5
修正医業収支金額（千円）	7,539,014

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,779,935			
1 経常収益	9,779,101			
(1) 医業収益	7,755,657			
入院収益	4,245,389			
外来収益	3,168,366			
診療収入計	7,413,755			
その他医業収益	341,902			
(うち他会計負担金)	216,643			
(2) 医業外収益	2,023,444			
(うち国・都道府県補助金)	17,876			
(うち他会計補助・負担金)	795,765			
(うち長期前受金戻入)	1,061,594			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	834			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,701,309			
2 経常費用	10,665,429			
(1) 医業費用	10,121,385			
職員給与費	3,975,206	51.3	56.0	57.1
材料費	1,820,814	23.5	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,133,395	14.6	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	686,428	8.9	11.1	11.4
減価償却費	1,816,480	23.4	9.2	9.5
経費	2,438,263	31.4	23.2	22.0
(うち委託料)	1,110,497	14.3	11.3	10.8
研究研修費	18,005			
資産減耗費	52,617			
(2) 医業外費用	544,044			
(うち支払利息)	85,851	1.1	1.6	1.6
(3) 特別損失	35,880			
損益				
経常損益	-886,328			
純損益	-921,374			
累積欠損金	9,724,411			
経常収支比率	91.7		98.2	96.7
医業収支比率	76.6		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.1		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	10.4		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	82.2		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	26,097,061
1 固定資産	24,125,202
(1) 有形固定資産	22,538,859
(2) 無形固定資産	14,776
(3) 投資その他の資産	1,571,567
2 流動資産	1,971,859
(1) 現金及び預金	636,389
(2) 未収金及び未収収益	1,197,665
(3) 貸倒引当金（ ）	2,346
(4) 貯蔵品	138,050
3 繰延資産	-
負債合計	23,206,827
1 固定負債	5,114,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,026,757
(2) その他の企業債	3,444
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) リース債務	47,731
2 流動負債	1,835,491
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	518,584
(2) その他の企業債	1,366
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	337,106
(6) リース債務	18,278
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	654,679
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,256,513
(1) 長期前受金	17,753,730
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,497,217
資本合計	2,890,234
1 資本金	12,533,471
2 剰余金	-9,643,237
(1) 資本金剰余金	163,021
(2) 利益剰余金	-9,806,258
負債・資本合計	26,097,061
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	822,633	1,012,408
資本勘定繰入	401,560	691,383
計	1,224,193	1,703,791

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	120.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	気仙沼市
	病院名	気仙沼市立本吉病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	1,902 m ²	指定病院の状況	
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	38	53.7	52.5	43.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	53.7	52.5	43.0
平均在院日数(一般病床のみ)		21.1	20.7	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	64,988	
決算規模(千円)	81,275,961	
標準財政規模(千円)	18,062,879	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	102.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.2
修正医業収支金額(千円)	423,660

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	626,171			
1 経常収益	625,823			
(1) 医業収益	423,660			
入院収益	183,357			
外来収益	219,160			
診療収入計	402,517			
その他医業収益	21,143			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	202,163			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	174,910			
(うち長期前受金戻入)	25,290			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	348			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	610,367			
2 経常費用	610,364			
(1) 医業費用	595,068			
職員給与費	316,260	74.6	56.0	81.3
材料費	51,786	12.2	24.1	14.4
(うち薬品費)	21,972	5.2	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,262	6.0	11.1	5.1
減価償却費	37,261	8.8	9.2	13.4
経費	188,749	44.6	23.2	47.5
(うち委託料)	82,196	19.4	11.3	20.0
研究研修費	889			
資産減耗費	123			
(2) 医業外費用	15,296			
(うち支払利息)	946	0.2	1.6	1.4
(3) 特別損失	3			
損益				
経常損益	15,459			
純損益	15,804			
累積欠損金	94,752			
経常収支比率	102.5		98.2	96.3
医業収支比率	71.2		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	27.9		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	41.3		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	27.9		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	73.9		86.0	64.8

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,097,061
1 固定資産	24,125,202
(1) 有形固定資産	22,538,859
(2) 無形固定資産	14,776
(3) 投資その他の資産	1,571,567
2 流動資産	1,971,859
(1) 現金及び預金	636,389
(2) 未収金及び未収収益	1,197,665
(3) 貸倒引当金()	2,346
(4) 貯蔵品	138,050
3 繰延資産	-
負債合計	23,206,827
1 固定負債	5,114,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,026,757
(2) その他の企業債	3,444
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) リース債務	47,731
2 流動負債	1,835,491
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	518,584
(2) その他の企業債	1,366
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	337,106
(6) リース債務	18,278
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	654,679
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,256,513
(1) 長期前受金	17,753,730
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,497,217
資本合計	2,890,234
1 資本金	12,533,471
2 剰余金	-9,643,237
(1) 資本金剰余金	163,021
(2) 利益剰余金	-9,806,258
負債・資本合計	26,097,061
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	174,910	174,910
資本勘定繰入	5,137	5,137
計	180,047	180,047

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	120.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	登米市
	病院名	登米市立登米市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,796 m ²	指定病院の状況	救 災 輪
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	258	60.2	59.1	61.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	258	60.2	59.1	61.1
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	20.8	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	81,959	
決算規模(千円)	50,472,013	
標準財政規模(千円)	26,996,376	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	95.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.1
修正医業収支金額(千円)	3,453,508

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,706,324			
1 経常収益	4,505,549			
(1) 医業収益	3,942,531			
入院収益	1,915,488			
外来収益	1,390,333			
診療収入計	3,305,821			
その他医業収益	636,710			
(うち他会計負担金)	489,023			
(2) 医業外収益	563,018			
(うち国・都道府県補助金)	6,596			
(うち他会計補助・負担金)	440,995			
(うち長期前受金戻入)	80,506			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	200,775			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,152,785			
2 経常費用	5,108,372			
(1) 医業費用	4,925,417			
職員給与費	2,582,893	65.5	56.0	59.3
材料費	522,787	13.3	24.1	19.3
(うち薬品費)	313,707	8.0	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	207,252	5.3	11.1	9.2
減価償却費	352,999	9.0	9.2	10.3
経費	1,448,607	36.7	23.2	27.6
(うち委託料)	502,031	12.7	11.3	12.3
研究研修費	13,355			
資産減耗費	4,776			
(2) 医業外費用	182,955			
(うち支払利息)	70,377	1.8	1.6	1.7
(3) 特別損失	44,413			
損益				
経常損益	-602,823			
純損益	-446,461			
累積欠損金	13,068,393			
経常収支比率	88.2		98.2	96.7
医業収支比率	80.0		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	20.6		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	23.6		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	19.8		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	70.0		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,989,765
1 固定資産	9,976,035
(1) 有形固定資産	9,922,567
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	52,180
2 流動資産	1,013,730
(1) 現金及び預金	219,956
(2) 未収金及び未収収益	767,553
(3) 貸倒引当金()	5,896
(4) 貯蔵品	30,285
3 繰延資産	-
負債合計	12,138,857
1 固定負債	8,214,352
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,582,587
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	120,000
(6) 引当金	2,511,765
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,515,576
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	416,027
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	262,350
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,450,000
(8) 未払金及び未払費用	320,048
(9) 前受金及び前受収益	32,530
3 繰延収益	1,408,929
(1) 長期前受金	2,088,041
(2) 長期前受金収益化累計額()	679,112
資本合計	-1,149,092
1 資本金	14,396,578
2 剰余金	-15,545,670
(1) 資本金剰余金	158,157
(2) 利益剰余金	-15,703,827
負債・資本合計	10,989,765
不良債務	1,085,889
実質資金不足額	1,085,889
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,149,092
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	898,919	930,018
資本勘定繰入	193,075	319,499
計	1,091,994	1,249,517

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	1,085,889	19.0
29年度	752,786	12.8
28年度	276,872	4.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	274.6
健全化法上の資金不足額(千円)	1,085,889
健全化法上の資金不足比率(%)	18.9
地財法上の資金不足額(千円)	1,085,889
地財法上の資金不足比率(%)	18.9

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	登米市
				病院名	登米市立米谷病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	6,823 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	4	看護配置	10	: 1	
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	59.9	71.4	67.2
療養	50	31.4	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	55.8	71.4	67.2
平均在院日数（一般病床のみ）		16.4	19.7	18.9

設立団体の状況		
人口（人）	81,959	
決算規模（千円）	50,472,013	
標準財政規模（千円）	26,996,376	
財政力指数	0.36	
経常収支比率（%）	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.4
	将来負担比率（%）	95.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	67.2
修正医業収支金額（千円）	736,034

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,125,983			
1 経常収益	1,125,983			
(1) 医業収益	785,379			
入院収益	266,062			
外来収益	419,879			
診療収入計	685,941			
その他医業収益	99,438			
(うち他会計負担金)	49,345			
(2) 医業外収益	340,604			
(うち国・都道府県補助金)	171			
(うち他会計補助・負担金)	299,554			
(うち長期前受金戻入)	12,432			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,215,083			
2 経常費用	1,131,234			
(1) 医業費用	1,095,952			
職員給与費	493,845	62.9	56.0	71.8
材料費	230,281	29.3	24.1	16.5
(うち薬品費)	198,866	25.3	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,856	3.9	11.1	5.6
減価償却費	44,786	5.7	9.2	12.2
経費	320,888	40.9	23.2	31.2
(うち委託料)	86,077	11.0	11.3	12.3
研究研修費	1,442			
資産減耗費	4,710			
(2) 医業外費用	35,282			
(うち支払利息)	6,689	0.9	1.6	1.9
(3) 特別損失	83,849			
損益				
経常損益	-5,251			
純損益	-89,100			
累積欠損金	1,842,929			
経常収支比率	99.5		98.2	97.1
医業収支比率	71.7		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	31.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	44.4		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	31.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	68.7		86.0	74.9

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	10,989,765
1 固定資産	9,976,035
(1) 有形固定資産	9,922,567
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	52,180
2 流動資産	1,013,730
(1) 現金及び預金	219,956
(2) 未収金及び未収収益	767,553
(3) 貸倒引当金（ ）	5,896
(4) 貯蔵品	30,285
3 繰延資産	-
負債合計	12,138,857
1 固定負債	8,214,352
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,582,587
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	120,000
(6) 引当金	2,511,765
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,515,576
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	416,027
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	262,350
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,450,000
(8) 未払金及び未払費用	320,048
(9) 前受金及び前受収益	32,530
3 繰延収益	1,408,929
(1) 長期前受金	2,088,041
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	679,112
資本合計	-1,149,092
1 資本金	14,396,578
2 剰余金	-15,545,670
(1) 資本金剰余金	158,157
(2) 利益剰余金	-15,703,827
負債・資本合計	10,989,765
不良債務	1,085,889
実質資金不足額	1,085,889
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,149,092
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	343,396	348,899
資本勘定繰入	63,571	128,142
計	406,967	477,041

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	1,085,889	19.0
29年度	752,786	12.8
28年度	276,872	4.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	274.6
健全化法上の資金不足額（千円）	1,085,889
健全化法上の資金不足比率（%）	18.9
地財法上の資金不足額（千円）	1,085,889
地財法上の資金不足比率（%）	18.9

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	登米市
	病院名	登米市立豊里病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,119 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	30 年 度	29 年 度	28 年 度
一 般	69	63.3	59.6	60.8
療 養	30	99.3	98.0	99.3
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	99	74.2	71.2	72.4
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	19.4	20.8

設立団体の状況		
人 口 (人)	81,959	
決 算 規 模 (千円)	50,472,013	
標 準 財 政 規 模 (千円)	26,996,376	
財 政 力 指 数	0.36	
経 常 収 支 比 率 (%)	90.8	
健全化 判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.4
	将来負担比率 (%)	95.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	78.0
修正医業収支金額 (千円)	936,075

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	1,168,760			
1 経 常 収 益	1,168,760			
(1) 医 業 収 益	991,804			
入 院 収 益	617,708			
外 来 収 益	275,029			
診 療 収 入 計	892,737			
そ の 他 医 業 収 益	99,067			
(うち他会計負担金)	55,729			
(2) 医 業 外 収 益	176,956			
(うち国・都道府県補助金)	3,962			
(うち他会計補助・負担金)	154,800			
(うち長期前受金戻入)	9,675			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	1,234,828			
2 経 常 費 用	1,233,637			
(1) 医 業 費 用	1,199,959			
職 員 給 与 費	632,586	63.8	56.0	71.8
材 料 費	108,303	10.9	24.1	16.5
(うち薬品費)	63,939	6.4	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,638	4.4	11.1	5.6
減 価 償 却 費	73,737	7.4	9.2	12.2
経 費	380,030	38.3	23.2	31.2
(うち委託料)	113,791	11.5	11.3	12.3
研 究 研 修 費	2,901			
資 産 減 耗 費	2,402			
(2) 医 業 外 費 用	33,678			
(うち支払利息)	5,830	0.6	1.6	1.9
(3) 特 別 損 失	1,191			
損 益				
経 常 損 益	-64,877			
純 損 益	-66,068			
累 積 欠 損 金	792,505			
経 常 収 支 比 率	94.7		98.2	97.1
医 業 収 支 比 率	82.7		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	21.2		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	18.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	77.7		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	10,989,765
1 固 定 資 産	9,976,035
(1) 有 形 固 定 資 産	9,922,567
(2) 無 形 固 定 資 産	1,288
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	52,180
2 流 動 資 産	1,013,730
(1) 現 金 及 び 預 金	219,956
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	767,553
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	5,896
(4) 貯 蔵 品	30,285
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	12,138,857
1 固 定 負 債	8,214,352
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,582,587
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	120,000
(6) 引 当 金	2,511,765
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	2,515,576
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	416,027
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	30,000
(5) 引 当 金	262,350
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	1,450,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	320,048
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	32,530
3 繰 延 収 益	1,408,929
(1) 長 期 前 受 金	2,088,041
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	679,112
資 本 合 計	-1,149,092
1 資 本 金	14,396,578
2 剰 余 金	-15,545,670
(1) 資 本 剰 余 金	158,157
(2) 利 益 剰 余 金	-15,703,827
負 債 ・ 資 本 合 計	10,989,765
不 良 債 務	1,085,889
実 質 資 金 不 足 額	1,085,889
資 本 不 足 額 ()	1,149,092
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	205,148	210,529
資 本 勘 定 繰 入	81,772	137,436
計	286,920	347,965

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
30 年 度	1,085,889	19.0
29 年 度	752,786	12.8
28 年 度	276,872	4.7

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	274.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	1,085,889
健全化法上の資金不足比率 (%)	18.9
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	1,085,889
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	18.9

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立栗原中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,277 m ²	指定病院の状況	救臨 災 輪
診療科数	18	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区 分	病床数	30年度	29年度	28年度
一 般	250	68.8	68.3	66.3
療 養	50	66.9	55.1	47.1
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	300	68.5	66.1	63.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	16.2	17.5

設立団体の状況		
人 口(人)	69,906	
決 算 規 模(千円)	43,419,628	
標 準 財 政 規 模(千円)	27,483,146	
財 政 力 指 数	0.31	
経 常 収 支 比 率(%)	94.7	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	47.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.2
修正医業収支金額(千円)	4,243,803

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	5,157,379			
1 経 常 収 益	5,157,379			
(1) 医 業 収 益	4,431,033			
入 院 収 益	3,027,036			
外 来 収 益	1,046,194			
診 療 収 入 計	4,073,230			
そ の 他 医 業 収 益	357,803			
(うち他会計負担金)	187,230			
(2) 医 業 外 収 益	726,346			
(うち国・都道府県補助金)	24,842			
(うち他会計補助・負担金)	577,495			
(うち長期前受金戻入)	85,499			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	5,333,456			
2 経 常 費 用	5,326,187			
(1) 医 業 費 用	5,041,156			
職 員 給 与 費	2,338,992	52.8	56.0	57.1
材 料 費	830,458	18.7	24.1	23.9
(うち薬品費)	296,268	6.7	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	534,190	12.1	11.1	11.4
減 価 償 却 費	423,000	9.5	9.2	9.5
経 費	1,425,634	32.2	23.2	22.0
(うち委託料)	514,998	11.6	11.3	10.8
研 究 研 修 費	13,660			
資 産 減 耗 費	9,412			
(2) 医 業 外 費 用	285,031			
(うち支払利息)	123,577	2.8	1.6	1.6
(3) 特 別 損 失	7,269			
損 益				
経 常 損 益	-168,808			
純 損 益	-176,077			
累 積 欠 損 金	6,372,136			
経 常 収 支 比 率	96.8		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	87.9		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	17.3		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	14.8		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	82.5		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	14,830,612
1 固 定 資 産	12,506,849
(1) 有 形 固 定 資 産	12,269,479
(2) 無 形 固 定 資 産	797
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	236,573
2 流 動 資 産	2,323,763
(1) 現 金 及 び 預 金	1,286,917
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	972,302
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	627
(4) 貯 蔵 品	65,171
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	11,925,297
1 固 定 負 債	10,086,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,069,504
(2) そ の 他 の 企 業 債	689
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	1,000,000
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	16,127
2 流 動 負 債	1,537,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	892,460
(2) そ の 他 の 企 業 債	341
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	246,460
(6) リ ー ス 債 務	4,606
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	392,238
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	301,430
(1) 長 期 前 受 金	546,627
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	245,197
資 本 合 計	2,905,315
1 資 本 金	10,414,677
2 剰 余 金	-7,509,362
(1) 資 本 剰 余 金	14,700
(2) 利 益 剰 余 金	-7,524,062
負 債 ・ 資 本 合 計	14,830,612
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	764,725	764,725
資 本 勘 定 繰 入	356,530	364,330
計	1,121,255	1,129,055

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
30 年 度	-	-
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率(%)	117.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額(千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立若柳病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,581 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	90	61.5	70.5	74.6
療養	30	73.3	81.7	86.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	64.4	73.3	77.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	19.4	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	69,906	
決算規模(千円)	43,419,628	
標準財政規模(千円)	27,483,146	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	47.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.5
修正医業収支金額(千円)	1,292,422

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,627,340			
1 経常収益	1,627,340			
(1) 医業収益	1,362,774			
入院収益	779,688			
外来収益	463,394			
診療収入計	1,243,082			
その他医業収益	119,692			
(うち他会計負担金)	70,352			
(2) 医業外収益	264,566			
(うち国・都道府県補助金)	1,310			
(うち他会計補助・負担金)	252,292			
(うち長期前受金戻入)	3,282			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,792,794			
2 経常費用	1,792,380			
(1) 医業費用	1,689,933			
職員給与費	832,722	61.1	56.0	61.8
材料費	197,468	14.5	24.1	17.7
(うち薬品費)	130,042	9.5	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,426	4.9	11.1	8.2
減価償却費	117,475	8.6	9.2	10.4
経費	536,965	39.4	23.2	29.9
(うち委託料)	172,246	12.6	11.3	12.9
研究研修費	2,500			
資産減耗費	2,803			
(2) 医業外費用	102,447			
(うち支払利息)	50,954	3.7	1.6	1.7
(3) 特別損失	414			
損益				
経常損益	-165,040			
純損益	-165,454			
累積欠損金	578,831			
経常収支比率	90.8		98.2	96.7
医業収支比率	80.6		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	19.8		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.7		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	19.8		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	72.8		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,830,612
1 固定資産	12,506,849
(1) 有形固定資産	12,269,479
(2) 無形固定資産	797
(3) 投資その他の資産	236,573
2 流動資産	2,323,763
(1) 現金及び預金	1,286,917
(2) 未収金及び未収収益	972,302
(3) 貸倒引当金()	627
(4) 貯蔵品	65,171
3 繰延資産	-
負債合計	11,925,297
1 固定負債	10,086,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,069,504
(2) その他の企業債	689
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	16,127
2 流動負債	1,537,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	892,460
(2) その他の企業債	341
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	246,460
(6) リース債務	4,606
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	392,238
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	301,430
(1) 長期前受金	546,627
(2) 長期前受金収益化累計額()	245,197
資本合計	2,905,315
1 資本金	10,414,677
2 剰余金	-7,509,362
(1) 資本金剰余金	14,700
(2) 利益剰余金	-7,524,062
負債・資本合計	14,830,612
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	322,644	322,644
資本勘定繰入	111,150	111,150
計	433,794	433,794

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	117.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立栗駒病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,954 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	5	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	45	60.2	53.9	58.0
療養	30	75.2	76.3	70.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	75	66.2	62.9	63.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.0	21.9	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	69,906	
決算規模(千円)	43,419,628	
標準財政規模(千円)	27,483,146	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	47.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.1
修正医業収支金額(千円)	544,190

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	824,659			
1 経常収益	824,659			
(1) 医業収益	606,198			
入院収益	378,783			
外来収益	147,073			
診療収入計	525,856			
その他医業収益	80,342			
(うち他会計負担金)	62,008			
(2) 医業外収益	218,461			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	212,582			
(うち長期前受金戻入)	2,964			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	931,735			
2 経常費用	931,720			
(1) 医業費用	890,656			
職員給与費	466,538	77.0	56.0	71.8
材料費	59,775	9.9	24.1	16.5
(うち薬品費)	33,795	5.6	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,980	4.3	11.1	5.6
減価償却費	67,968	11.2	9.2	12.2
経費	294,324	48.6	23.2	31.2
(うち委託料)	100,303	16.5	11.3	12.3
研究研修費	1,127			
資産減耗費	924			
(2) 医業外費用	41,064			
(うち支払利息)	17,416	2.9	1.6	1.9
(3) 特別損失	15			
損益				
経常損益	-107,061			
純損益	-107,076			
累積欠損金	573,095			
経常収支比率	88.5		98.2	97.1
医業収支比率	68.1		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	33.3		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	45.3		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	33.3		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	59.0		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,830,612
1 固定資産	12,506,849
(1) 有形固定資産	12,269,479
(2) 無形固定資産	797
(3) 投資その他の資産	236,573
2 流動資産	2,323,763
(1) 現金及び預金	1,286,917
(2) 未収金及び未収収益	972,302
(3) 貸倒引当金()	627
(4) 貯蔵品	65,171
3 繰延資産	-
負債合計	11,925,297
1 固定負債	10,086,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,069,504
(2) その他の企業債	689
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	16,127
2 流動負債	1,537,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	892,460
(2) その他の企業債	341
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	246,460
(6) リース債務	4,606
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	392,238
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	301,430
(1) 長期前受金	546,627
(2) 長期前受金収益化累計額()	245,197
資本合計	2,905,315
1 資本金	10,414,677
2 剰余金	-7,509,362
(1) 資本剰余金	14,700
(2) 利益剰余金	-7,524,062
負債・資本合計	14,830,612
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	274,590	274,590
資本勘定繰入	39,334	39,334
計	313,924	313,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	117.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	大崎市
	病院名	大崎市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	50,178 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
診療科数	43	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	494	83.4	83.5	85.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	10.9
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	1.5	5.8
計	500	82.4	82.5	82.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.6	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	65,204,211	
標準財政規模(千円)	36,155,393	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	28.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.2
修正医業収支金額(千円)	18,066,739

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,193,701			
1 経常収益	20,863,363			
(1) 医業収益	19,020,669			
入院収益	11,204,988			
外来収益	6,111,344			
診療収入計	17,316,332			
その他医業収益	1,704,337			
(うち他会計負担金)	953,930			
(2) 医業外収益	1,842,694			
(うち国・都道府県補助金)	81,368			
(うち他会計補助・負担金)	794,581			
(うち長期前受金戻入)	526,036			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	330,338			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,611,508			
2 経常費用	20,600,363			
(1) 医業費用	19,596,527			
職員給与費	7,814,405	41.1	56.0	49.8
材料費	6,062,260	31.9	24.1	28.0
(うち薬品費)	3,391,226	17.8	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,671,034	14.0	11.1	12.8
減価償却費	1,636,795	8.6	9.2	8.3
経費	3,990,071	21.0	23.2	20.7
(うち委託料)	1,839,695	9.7	11.3	11.4
研究研修費	74,143			
資産減耗費	18,853			
(2) 医業外費用	1,003,836			
(うち支払利息)	208,493	1.1	1.6	1.4
(3) 特別損失	11,145			
損益				
経常損益	263,000			
純損益	582,193			
累積欠損金	549,758			
経常収支比率	101.3		98.2	99.5
医業収支比率	97.1		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	92.8		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,247,014
1 固定資産	25,700,588
(1) 有形固定資産	24,891,907
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	808,681
2 流動資産	7,546,426
(1) 現金及び預金	3,989,562
(2) 未収金及び未収収益	3,307,679
(3) 貸倒引当金()	12,505
(4) 貯蔵品	261,404
3 繰延資産	-
負債合計	25,683,723
1 固定負債	15,836,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,611,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	938,705
(7) リース債務	1,286,116
2 流動負債	4,150,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,517,736
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	648,496
(6) リース債務	123,084
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,801,039
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,696,589
(1) 長期前受金	9,089,163
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,392,574
資本合計	7,563,291
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-3,506,253
(1) 資本金剰余金	75,286
(2) 利益剰余金	-3,581,539
負債・資本合計	33,247,014
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,748,511	1,748,511
資本勘定繰入	567,625	567,625
計	2,316,136	2,316,136

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	大崎市
				病院名	大崎市民病院鳴子温泉分院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,794 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	5	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	50.4	60.9	60.7
療養	40	47.5	55.5	73.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	48.7	57.6	68.7
平均在院日数（一般病床のみ）		20.1	20.5	18.4

設立団体の状況		
人口（人）	133,391	
決算規模（千円）	65,204,211	
標準財政規模（千円）	36,155,393	
財政力指数	0.50	
経常収支比率（%）	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.8
	将来負担比率（%）	28.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	46.6
修正医業収支金額（千円）	493,443

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,155,710			
1 経常収益	1,148,628			
(1) 医業収益	533,472			
入院収益	375,200			
外来収益	105,923			
診療収入計	481,123			
その他医業収益	52,349			
(うち他会計負担金)	40,029			
(2) 医業外収益	615,156			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	532,394			
(うち長期前受金戻入)	61,827			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,082			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,087,544			
2 経常費用	1,087,415			
(1) 医業費用	1,058,537			
職員給与費	564,041	105.7	56.0	71.8
材料費	44,738	8.4	24.1	16.5
(うち薬品費)	22,815	4.3	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,923	4.1	11.1	5.6
減価償却費	54,316	10.2	9.2	12.2
経費	392,863	73.6	23.2	31.2
(うち委託料)	177,428	33.3	11.3	12.3
研究研修費	2,409			
資産減耗費	170			
(2) 医業外費用	28,878			
(うち支払利息)	10,662	2.0	1.6	1.9
(3) 特別損失	129			
損益				
経常損益	61,213			
純損益	68,166			
累積欠損金	1,429,759			
経常収支比率	105.6		98.2	97.1
医業収支比率	50.4		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	49.8		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	107.3		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	49.5		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	53.0		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	33,247,014
1 固定資産	25,700,588
(1) 有形固定資産	24,891,907
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	808,681
2 流動資産	7,546,426
(1) 現金及び預金	3,989,562
(2) 未収金及び未収収益	3,307,679
(3) 貸倒引当金（ ）	12,505
(4) 貯蔵品	261,404
3 繰延資産	-
負債合計	25,683,723
1 固定負債	15,836,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,611,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	938,705
(7) リース債務	1,286,116
2 流動負債	4,150,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,517,736
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	648,496
(6) リース債務	123,084
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,801,039
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,696,589
(1) 長期前受金	9,089,163
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	3,392,574
資本合計	7,563,291
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-3,506,253
(1) 資本金剰余金	75,286
(2) 利益剰余金	-3,581,539
負債・資本合計	33,247,014
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	572,423	572,423
資本勘定繰入	72,199	72,199
計	644,622	644,622

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	17.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	大崎市
	病院名	大崎市民病院岩出山分院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,496 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	82.5	78.0	74.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	82.5	78.0	74.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	19.4	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	65,204,211	
標準財政規模(千円)	36,155,393	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	28.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	739,448			
1 経常収益	725,775			
(1) 医業収益	522,326			
入院収益	288,365			
外来収益	172,073			
診療収入計	460,438			
その他医業収益	61,888			
(うち他会計負担金)	36,340			
(2) 医業外収益	203,449			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	135,764			
(うち長期前受金戻入)	43,041			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,673			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	775,356			
2 経常費用	775,277			
(1) 医業費用	756,142			
職員給与費	386,895	74.1	56.0	81.3
材料費	46,642	8.9	24.1	14.4
(うち薬品費)	17,779	3.4	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,863	5.5	11.1	5.1
減価償却費	67,738	13.0	9.2	13.4
経費	252,401	48.3	23.2	47.5
(うち委託料)	98,230	18.8	11.3	20.0
研究研修費	1,958			
資産減耗費	508			
(2) 医業外費用	19,135			
(うち支払利息)	4,788	0.9	1.6	1.4
(3) 特別損失	79			
損益				
経常損益	-49,502			
純損益	-35,908			
累積欠損金	734,521			
経常収支比率	93.6		98.2	96.3
医業収支比率	69.1		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	23.7		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	32.9		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	23.3		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	71.4		86.0	64.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,247,014
1 固定資産	25,700,588
(1) 有形固定資産	24,891,907
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	808,681
2 流動資産	7,546,426
(1) 現金及び預金	3,989,562
(2) 未収金及び未収収益	3,307,679
(3) 貸倒引当金()	12,505
(4) 貯蔵品	261,404
3 繰延資産	-
負債合計	25,683,723
1 固定負債	15,836,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,611,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	938,705
(7) リース債務	1,286,116
2 流動負債	4,150,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,517,736
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	648,496
(6) リース債務	123,084
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,801,039
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,696,589
(1) 長期前受金	9,089,163
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,392,574
資本合計	7,563,291
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-3,506,253
(1) 資本金剰余金	75,286
(2) 利益剰余金	-3,581,539
負債・資本合計	33,247,014
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.3
修正医業収支金額(千円)	485,986

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	172,104	172,104
資本勘定繰入	33,107	33,107
計	205,211	205,211

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	大崎市
				病院名	大崎市民病院鹿島台分院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	4,728 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	3	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	71.3	73.0	64.4
療養	18	68.5	71.4	60.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	70.2	72.3	62.7
平均在院日数(一般病床のみ)		22.7	25.2	22.4

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	65,204,211	
標準財政規模(千円)	36,155,393	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	28.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.2
修正医業収支金額(千円)	611,131

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	926,214			
1 経常収益	922,001			
(1) 医業収益	647,475			
入院収益	364,659			
外来収益	212,337			
診療収入計	576,996			
その他医業収益	70,479			
(うち他会計負担金)	36,344			
(2) 医業外収益	274,526			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	231,196			
(うち長期前受金戻入)	21,942			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,213			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	990,596			
2 経常費用	990,517			
(1) 医業費用	966,873			
職員給与費	491,185	75.9	56.0	71.8
材料費	53,517	8.3	24.1	16.5
(うち薬品費)	27,301	4.2	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,216	4.0	11.1	5.6
減価償却費	80,522	12.4	9.2	12.2
経費	340,087	52.5	23.2	31.2
(うち委託料)	124,134	19.2	11.3	12.3
研究研修費	1,499			
資産減耗費	63			
(2) 医業外費用	23,644			
(うち支払利息)	8,188	1.3	1.6	1.9
(3) 特別損失	79			
損益				
経常損益	-68,516			
純損益	-64,382			
累積欠損金	867,501			
経常収支比率	93.1		98.2	97.1
医業収支比率	67.0		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	29.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	41.3		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	28.9		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	66.1		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,247,014
1 固定資産	25,700,588
(1) 有形固定資産	24,891,907
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	808,681
2 流動資産	7,546,426
(1) 現金及び預金	3,989,562
(2) 未収金及び未収収益	3,307,679
(3) 貸倒引当金()	12,505
(4) 貯蔵品	261,404
3 繰延資産	-
負債合計	25,683,723
1 固定負債	15,836,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,611,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	938,705
(7) リース債務	1,286,116
2 流動負債	4,150,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,517,736
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	648,496
(6) リース債務	123,084
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,801,039
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,696,589
(1) 長期前受金	9,089,163
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,392,574
資本合計	7,563,291
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-3,506,253
(1) 資本剰余金	75,286
(2) 利益剰余金	-3,581,539
負債・資本合計	33,247,014
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	264,014	267,540
資本勘定繰入	22,487	22,487
計	286,501	290,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	蔵王町
				病院名	蔵王町国民健康保険蔵王病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,084 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	2	看護配置	25:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	10	91.6	89.1	94.1
療養	28	95.3	96.7	99.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	94.4	94.7	98.0
平均在院日数(一般病床のみ)		26.8	28.2	29.1

設立団体の状況		
人口(人)	12,316	
決算規模(千円)	5,662,913	
標準財政規模(千円)	3,968,924	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.6
修正医業収支金額(千円)	243,930

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	370,296			
1 経常収益	370,296			
(1) 医業収益	283,649			
入院収益	167,059			
外来収益	63,701			
診療収入計	230,760			
その他医業収益	52,889			
(うち他会計負担金)	39,719			
(2) 医業外収益	86,647			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	84,707			
(うち長期前受金戻入)	1,157			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	406,158			
2 経常費用	406,070			
(1) 医業費用	395,768			
職員給与費	240,967	85.0	56.0	81.3
材料費	29,602	10.4	24.1	14.4
(うち薬品費)	7,314	2.6	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,071	4.6	11.1	5.1
減価償却費	9,627	3.4	9.2	13.4
経費	115,082	40.6	23.2	47.5
(うち委託料)	66,767	23.5	11.3	20.0
研究研修費	149			
資産減耗費	341			
(2) 医業外費用	10,302			
(うち支払利息)	203	0.1	1.6	1.4
(3) 特別損失	88			
損益				
経常損益	-35,774			
純損益	-35,862			
累積欠損金	79,896			
経常収支比率	91.2		98.2	96.3
医業収支比率	71.7		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	33.6		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	43.9		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	33.6		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	60.5		86.0	64.8

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	437,192
1 固定資産	157,431
(1) 有形固定資産	157,381
(2) 無形固定資産	50
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	279,761
(1) 現金及び預金	227,814
(2) 未収金及び未収収益	49,596
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,351
3 繰延資産	-
負債合計	75,139
1 固定負債	23,533
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,533
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	44,298
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,876
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	17,188
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	20,234
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,308
(1) 長期前受金	57,473
(2) 長期前受金収益化累計額()	50,165
資本合計	362,053
1 資本金	435,199
2 剰余金	-73,146
(1) 資本剰余金	6,750
(2) 利益剰余金	-79,896
負債・資本合計	437,192
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	92,761	124,426
資本勘定繰入	2,436	3,516
計	95,197	127,942

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	川崎町
				病院名	国民健康保険川崎病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,631 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	4	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	30	75.5	79.4	78.2
療養	28	82.1	84.2	72.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	78.6	81.7	75.5
平均在院日数（一般病床のみ）		18.4	18.7	17.5

設立団体の状況		
人口（人）	9,167	
決算規模（千円）	5,076,134	
標準財政規模（千円）	3,342,439	
財政力指数	0.32	
経常収支比率（%）	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	4.0
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	66.6
修正医業収支金額（千円）	522,376

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	786,127			
1 経常収益	784,369			
(1) 医業収益	583,636			
入院収益	332,763			
外来収益	163,532			
診療収入計	496,295			
その他医業収益	87,341			
(うち他会計負担金)	61,260			
(2) 医業外収益	200,733			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	185,665			
(うち長期前受金戻入)	9,853			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,758			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	824,126			
2 経常費用	823,304			
(1) 医業費用	784,853			
職員給与費	428,699	73.5	56.0	71.8
材料費	69,545	11.9	24.1	16.5
(うち薬品費)	37,580	6.4	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,308	3.8	11.1	5.6
減価償却費	34,238	5.9	9.2	12.2
経費	249,192	42.7	23.2	31.2
(うち委託料)	89,173	15.3	11.3	12.3
研究研修費	1,301			
資産減耗費	1,878			
(2) 医業外費用	38,451			
(うち支払利息)	17,537	3.0	1.6	1.9
(3) 特別損失	822			
損益				
経常損益	-38,935			
純損益	-37,999			
累積欠損金	1,305,996			
経常収支比率	95.3		98.2	97.1
医業収支比率	74.4		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	31.5		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	42.3		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	31.4		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	65.3		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	948,676
1 固定資産	826,062
(1) 有形固定資産	825,591
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	122,614
(1) 現金及び預金	40,533
(2) 未収金及び未収収益	79,113
(3) 貸倒引当金（ ）	493
(4) 貯蔵品	3,461
3 繰延資産	-
負債合計	773,759
1 固定負債	404,399
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	352,864
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,535
(7) リース債務	-
2 流動負債	139,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	73,440
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,949
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,563
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	229,528
(1) 長期前受金	506,076
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	276,548
資本合計	174,917
1 資本金	1,400,602
2 剰余金	-1,225,685
(1) 資本金剰余金	80,311
(2) 利益剰余金	-1,305,996
負債・資本合計	948,676
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資金不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	246,925	246,925
資本勘定繰入	42,250	83,330
計	289,175	330,255

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	223.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	丸森町
				病院名	丸森町国民健康保険丸森病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,360 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	5	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	55	73.6	75.2	78.1
療養	35	76.9	74.4	78.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	74.9	74.9	78.2
平均在院日数（一般病床のみ）		23.4	21.5	21.6

設立団体の状況		
人口（人）	13,972	
決算規模（千円）	8,223,514	
標準財政規模（千円）	5,136,950	
財政力指数	0.30	
経常収支比率（%）	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.4
	将来負担比率（%）	80.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	80.0
修正医業収支金額（千円）	863,774

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,110,188			
1 経常収益	1,110,188			
(1) 医業収益	953,991			
入院収益	478,426			
外来収益	273,594			
診療収入計	752,020			
その他医業収益	201,971			
(うち他会計負担金)	90,217			
(2) 医業外収益	156,197			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	141,273			
(うち長期前受金戻入)	10,992			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,139,752			
2 経常費用	1,137,873			
(1) 医業費用	1,079,565			
職員給与費	474,023	49.7	56.0	71.8
材料費	96,531	10.1	24.1	16.5
(うち薬品費)	38,819	4.1	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,305	5.9	11.1	5.6
減価償却費	62,845	6.6	9.2	12.2
経費	441,772	46.3	23.2	31.2
(うち委託料)	209,120	21.9	11.3	12.3
研究研修費	1,300			
資産減耗費	3,094			
(2) 医業外費用	58,308			
(うち支払利息)	26,830	2.8	1.6	1.9
(3) 特別損失	1,879			
損益				
経常損益	-27,685			
純損益	-29,564			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.6		98.2	97.1
医業収支比率	88.4		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	20.9		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	24.3		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	20.9		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	77.2		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,844,830
1 固定資産	1,375,757
(1) 有形固定資産	1,375,696
(2) 無形固定資産	61
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	469,073
(1) 現金及び預金	348,212
(2) 未収金及び未収収益	119,499
(3) 貸倒引当金（ ）	1,000
(4) 貯蔵品	2,142
3 繰延資産	-
負債合計	1,012,187
1 固定負債	750,783
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	724,663
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	21,487
(7) リース債務	4,633
2 流動負債	217,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	98,994
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,905
(6) リース債務	2,780
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	70,301
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	44,249
(1) 長期前受金	617,993
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	573,744
資本合計	832,643
1 資本金	758,647
2 剰余金	73,996
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	73,996
負債・資本合計	1,844,830
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	234,130	231,490
資本勘定繰入	98,510	98,510
計	332,640	330,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	涌谷町
	病院名	涌谷町国民健康保険病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,569 m ²	指定病院の状況	救臨 へ 輪
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	80	61.4	76.2	77.1
療養	41	74.3	85.4	87.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	121	65.8	79.3	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	18.9	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	16,701	
決算規模(千円)	7,268,205	
標準財政規模(千円)	4,704,084	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	59.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,914,235			
1 経常収益	1,813,303			
(1) 医業収益	1,563,662			
入院収益	700,018			
外来収益	682,454			
診療収入計	1,382,472			
その他医業収益	181,190			
(うち他会計負担金)	88,039			
(2) 医業外収益	249,641			
(うち国・都道府県補助金)	138			
(うち他会計補助・負担金)	152,713			
(うち長期前受金戻入)	73,405			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	100,932			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,075,298			
2 経常費用	2,075,298			
(1) 医業費用	1,998,418			
職員給与費	1,021,447	65.3	56.0	61.8
材料費	454,591	29.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	372,028	23.8	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,407	4.0	11.1	8.2
減価償却費	114,061	7.3	9.2	10.4
経費	402,073	25.7	23.2	29.9
(うち委託料)	139,539	8.9	11.3	12.9
研究研修費	3,659			
資産減耗費	2,587			
(2) 医業外費用	76,880			
(うち支払利息)	14,307	0.9	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-261,995			
純損益	-161,063			
累積欠損金	1,310,468			
経常収支比率	87.4		98.2	96.7
医業収支比率	78.2		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.4		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	12.6		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	75.8		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,757,435
1 固定資産	1,457,863
(1) 有形固定資産	1,456,643
(2) 無形固定資産	1,220
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	299,572
(1) 現金及び預金	18,177
(2) 未収金及び未収収益	272,065
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,330
3 繰延資産	-
負債合計	1,605,345
1 固定負債	701,661
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	701,661
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	452,598
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	119,478
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,071
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	190,000
(8) 未払金及び未払費用	82,049
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	451,086
(1) 長期前受金	895,303
(2) 長期前受金収益化累計額()	444,217
資本合計	152,090
1 資本金	1,430,372
2 剰余金	-1,278,282
(1) 資本剰余金	32,186
(2) 利益剰余金	-1,310,468
負債・資本合計	1,757,435
不良債務	33,548
実質資金不足額	33,548
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.8
修正医業収支金額(千円)	1,475,623

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	200,087	240,752
資本勘定繰入	105,949	222,874
計	306,036	463,626

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	33,548	2.1
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	83.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	33,548
地財法上の資金不足比率(%)	2.1

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	美里町
	病院名	美里町立南郷病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,899 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	5	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	82.5	74.4	72.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	82.5	74.4	72.3
平均在院日数(一般病床のみ)		44.0	36.1	33.9

設立団体の状況		
人口(人)	24,852	
決算規模(千円)	10,841,612	
標準財政規模(千円)	6,968,217	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	40.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.4
修正医業収支金額(千円)	454,600

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	684,463			
1 経常収益	684,463			
(1) 医業収益	490,894			
入院収益	255,287			
外来収益	149,074			
診療収入計	404,361			
その他医業収益	86,533			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	193,569			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	163,706			
(うち長期前受金戻入)	29,070			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	679,604			
2 経常費用	679,604			
(1) 医業費用	645,936			
職員給与費	291,163	59.3	56.0	71.8
材料費	73,777	15.0	24.1	16.5
(うち薬品費)	42,057	8.6	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,720	6.5	11.1	5.6
減価償却費	50,940	10.4	9.2	12.2
経費	228,556	46.6	23.2	31.2
(うち委託料)	67,177	13.7	11.3	12.3
研究研修費	399			
資産減耗費	1,101			
(2) 医業外費用	33,668			
(うち支払利息)	17,781	3.6	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	4,859			
純損益	4,859			
累積欠損金	496,692			
経常収支比率	100.7		98.2	97.1
医業収支比率	76.0		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	29.2		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	40.7		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	29.2		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	71.3		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,111,764
1 固定資産	837,385
(1) 有形固定資産	837,385
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	274,379
(1) 現金及び預金	214,531
(2) 未収金及び未収収益	57,504
(3) 貸倒引当金()	43
(4) 貯蔵品	2,287
3 繰延資産	-
負債合計	693,636
1 固定負債	421,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	417,853
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	3,384
2 流動負債	165,018
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	103,818
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,079
(6) リース債務	1,128
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,925
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	107,381
(1) 長期前受金	245,889
(2) 長期前受金収益化累計額()	138,508
資本合計	418,128
1 資本金	914,820
2 剰余金	-496,692
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-496,692
負債・資本合計	1,111,764
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	194,681	200,000
資本勘定繰入	57,878	57,878
計	252,559	257,878

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	101.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	女川町
		病院名	女川町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	6,334	
決算規模（千円）	41,046,826	
標準財政規模（千円）	3,513,470	
財政力指数	1.01	
経常収支比率（%）	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	3.6
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,200			
1 経常収益	6,200			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,200			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,200			
2 経常費用	6,200			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	71.8
材料費	-	-	24.1	16.5
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.6
減価償却費	-	-	9.2	12.2
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,200			
(うち支払利息)	6,200	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	97.1
医業収支比率	-		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	74.9

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	南三陸町
				病院名	南三陸病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,554 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	79.5	90.7	80.9
療養	50	96.5	100.0	89.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	89.0	95.9	85.7
平均在院日数（一般病床のみ）		11.7	13.0	18.1

設立団体の状況		
人口（人）	12,370	
決算規模（千円）	28,575,585	
標準財政規模（千円）	5,173,370	
財政力指数	0.30	
経常収支比率（%）	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	6.9
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	69.5
修正医業収支金額（千円）	1,324,389

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,889,901			
1 経常収益	1,889,901			
(1) 医業収益	1,379,389			
入院収益	804,618			
外来収益	466,038			
診療収入計	1,270,656			
その他医業収益	108,733			
(うち他会計負担金)	55,000			
(2) 医業外収益	510,512			
(うち国・都道府県補助金)	422			
(うち他会計補助・負担金)	240,000			
(うち長期前受金戻入)	259,459			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,032,865			
2 経常費用	2,032,865			
(1) 医業費用	1,906,494			
職員給与費	926,084	67.1	56.0	71.8
材料費	185,883	13.5	24.1	16.5
(うち薬品費)	65,291	4.7	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	102,406	7.4	11.1	5.6
減価償却費	291,075	21.1	9.2	12.2
経費	500,204	36.3	23.2	31.2
(うち委託料)	211,041	15.3	11.3	12.3
研究研修費	3,248			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	126,371			
(うち支払利息)	2,877	0.2	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-142,964			
純損益	-142,964			
累積欠損金	3,203,146			
経常収支比率	93.0		98.2	97.1
医業収支比率	72.4		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	15.6		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	15.6		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	78.5		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	5,060,393
1 固定資産	4,741,795
(1) 有形固定資産	4,490,011
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	251,784
2 流動資産	318,598
(1) 現金及び預金	115,040
(2) 未収金及び未収収益	198,372
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	5,186
3 繰延資産	-
負債合計	5,146,410
1 固定負債	250,225
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	245,948
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,277
2 流動負債	115,485
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	31,264
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	3,170
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	81,051
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,780,700
(1) 長期前受金	5,945,527
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,164,827
資本合計	-86,017
1 資本金	3,089,379
2 剰余金	-3,175,396
(1) 資本金剰余金	27,750
(2) 利益剰余金	-3,203,146
負債・資本合計	5,060,393
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	86,017
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	295,000	295,000
資本勘定繰入	2,334	33,493
計	297,334	328,493

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	232.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	42,835
地財法上の資金不足比率（%）	3.1

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	白石市外二町組合
				病院名	公立刈田総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,164 m ²	指定病院の状況	救感災輪		
診療科数	19	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	300	59.7	62.6	60.1
療養	-	-	-	-
結核	4	0.3	-	0.3
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.1	0.2	1.4
計	308	58.1	61.0	58.5
平均在院日数（一般病床のみ）		16.2	16.5	16.7

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	2,815	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	79.5
修正医業収支金額（千円）	4,215,915

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,055,610			
1 経常収益	4,992,838			
(1) 医業収益	4,483,527			
入院収益	2,710,111			
外来収益	1,316,313			
診療収入計	4,026,424			
その他医業収益	457,103			
(うち他会計負担金)	267,612			
(2) 医業外収益	509,311			
(うち国・都道府県補助金)	10,186			
(うち他会計補助・負担金)	398,613			
(うち長期前受金戻入)	34,214			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	62,772			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,596,176			
2 経常費用	5,596,176			
(1) 医業費用	5,306,029			
職員給与費	2,461,670	54.9	56.0	57.1
材料費	606,878	13.5	24.1	23.9
(うち薬品費)	265,881	5.9	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	340,997	7.6	11.1	11.4
減価償却費	465,719	10.4	9.2	9.5
経費	1,757,490	39.2	23.2	22.0
(うち委託料)	636,645	14.2	11.3	10.8
研究研修費	11,045			
資産減耗費	3,227			
(2) 医業外費用	290,147			
(うち支払利息)	148,185	3.3	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-603,338			
純損益	-540,566			
累積欠損金	14,124,835			
経常収支比率	89.2		98.2	96.7
医業収支比率	84.5		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.3		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	14.9		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	77.3		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,980,231
1 固定資産	5,933,603
(1) 有形固定資産	5,828,155
(2) 無形固定資産	2,029
(3) 投資その他の資産	103,419
2 流動資産	1,046,628
(1) 現金及び預金	248,522
(2) 未収金及び未収収益	726,872
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	71,234
3 繰延資産	-
負債合計	9,094,766
1 固定負債	6,789,062
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,628,685
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	92,254
(7) リース債務	68,123
2 流動負債	1,776,868
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	761,789
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	174,887
(6) リース債務	24,956
(7) 一時借入金	510,000
(8) 未払金及び未払費用	269,775
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	528,836
(1) 長期前受金	1,274,167
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	745,331
資本合計	-2,114,535
1 資本金	11,980,510
2 剰余金	-14,095,045
(1) 資本剰余金	1,050
(2) 利益剰余金	-14,096,095
負債・資本合計	6,980,231
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	2,114,535
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,585,699
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	666,225	666,225
資本勘定繰入	474,126	474,126
計	1,140,351	1,140,351

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	315.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	黒川地域行政事務組合
	病院名	公立黒川病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,025 m ²	指定病院の状況	救臨 へ
診療科数	17	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	110	59.8	69.6	67.7
療養	60	69.3	82.0	78.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	63.2	74.0	71.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	13.1	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,130,696	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.6
修正医業収支金額(千円)	2,786,207

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,996,845			
1 経常収益	2,996,844			
(1) 医業収益	2,796,207			
入院収益	1,411,140			
外来収益	1,241,240			
診療収入計	2,652,380			
その他医業収益	143,827			
(うち他会計負担金)	10,000			
(2) 医業外収益	200,637			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	162,595			
(うち長期前受金戻入)	21,138			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,236,170			
2 経常費用	3,235,702			
(1) 医業費用	3,180,336			
職員給与費	24,560	0.9	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	177,923	6.4	9.2	10.4
経費	2,975,680	106.4	23.2	29.9
(うち委託料)	2,929,290	104.8	11.3	12.9
研究研修費	-			
資産減耗費	2,173			
(2) 医業外費用	55,366			
(うち支払利息)	55,366	2.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	468			
損益				
経常損益	-238,858			
純損益	-239,325			
累積欠損金	3,222,467			
経常収支比率	92.6		98.2	96.7
医業収支比率	87.9		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	87.3		86.0	80.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,808,732
1 固定資産	3,770,503
(1) 有形固定資産	3,770,503
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,038,229
(1) 現金及び預金	131,593
(2) 未収金及び未収収益	446,636
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,332,283
1 固定負債	1,906,923
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,894,818
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	12,105
(7) リース債務	-
2 流動負債	873,775
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	349,526
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,189
(6) リース債務	519
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	219,541
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	551,585
(1) 長期前受金	783,251
(2) 長期前受金収益化累計額()	231,666
資本合計	1,476,449
1 資本金	4,698,916
2 剰余金	-3,222,467
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,222,467
負債・資本合計	4,808,732
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	66,159	172,595
資本勘定繰入	183,981	302,222
計	250,140	474,817

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	115.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	加美郡保健医療福祉行政事務組合
	病院名	公立加美病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,804 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	79.9	76.5	83.0
療養	50	92.5	79.2	79.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	86.9	78.0	81.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.4	19.6	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	864,729	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	101.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.4
修正医業収支金額(千円)	937,471

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,355,876			
1 経常収益	1,355,876			
(1) 医業収益	992,262			
入院収益	575,428			
外来収益	272,620			
診療収入計	848,048			
その他医業収益	144,214			
(うち他会計負担金)	54,791			
(2) 医業外収益	363,614			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	278,252			
(うち長期前受金戻入)	83,552			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,410,443			
2 経常費用	1,410,443			
(1) 医業費用	1,350,352			
職員給与費	751,466	75.7	56.0	71.8
材料費	120,920	12.2	24.1	16.5
(うち薬品費)	42,423	4.3	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,605	7.7	11.1	5.6
減価償却費	89,150	9.0	9.2	12.2
経費	386,111	38.9	23.2	31.2
(うち委託料)	160,645	16.2	11.3	12.3
研究研修費	1,773			
資産減耗費	932			
(2) 医業外費用	60,091			
(うち支払利息)	28,821	2.9	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-54,567			
純損益	-54,567			
累積欠損金	1,870,356			
経常収支比率	96.1		98.2	97.1
医業収支比率	73.5		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	24.6		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	33.6		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	24.6		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	72.5		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,780,135
1 固定資産	1,607,969
(1) 有形固定資産	1,607,530
(2) 無形固定資産	439
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	172,166
(1) 現金及び預金	36,406
(2) 未収金及び未収収益	128,698
(3) 貸倒引当金()	2,460
(4) 貯蔵品	9,522
3 繰延資産	-
負債合計	2,052,708
1 固定負債	1,223,105
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,223,105
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	318,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	173,748
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,061
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	90,060
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	510,734
(1) 長期前受金	1,728,413
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,217,679
資本合計	-272,573
1 資本金	1,518,342
2 剰余金	-1,790,915
(1) 資本金剰余金	79,441
(2) 利益剰余金	-1,870,356
負債・資本合計	1,780,135
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	272,573
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	413,042	333,043
資本勘定繰入	107,473	174,517
計	520,515	507,560

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	188.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	みやぎ県南中核病院企業団
				病院名	みやぎ県南中核病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,364 m ²	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
診療科数	32	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	310	74.3	74.1	78.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	310	74.3	74.1	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	11.7	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.0
修正医業収支金額(千円)	7,576,105

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,649,853			
1 経常収益	8,648,528			
(1) 医業収益	7,994,724			
入院収益	4,960,391			
外来収益	2,303,347			
診療収入計	7,263,738			
その他医業収益	730,986			
(うち他会計負担金)	418,619			
(2) 医業外収益	653,804			
(うち国・都道府県補助金)	108,374			
(うち他会計補助・負担金)	376,490			
(うち長期前受金戻入)	67,873			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,325			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,440,940			
2 経常費用	9,440,702			
(1) 医業費用	8,908,679			
職員給与費	4,321,922	54.1	56.0	57.1
材料費	1,706,452	21.3	24.1	23.9
(うち薬品費)	871,164	10.9	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	835,288	10.4	11.1	11.4
減価償却費	797,186	10.0	9.2	9.5
経費	2,043,156	25.6	23.2	22.0
(うち委託料)	1,012,429	12.7	11.3	10.8
研究研修費	36,729			
資産減耗費	3,234			
(2) 医業外費用	532,023			
(うち支払利息)	184,548	2.3	1.6	1.6
(3) 特別損失	238			
損益				
経常損益	-792,174			
純損益	-791,087			
累積欠損金	14,282,319			
経常収支比率	91.6		98.2	96.7
医業収支比率	89.7		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	9.9		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	83.2		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,728,051
1 固定資産	8,131,408
(1) 有形固定資産	8,083,748
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	47,660
2 流動資産	1,596,643
(1) 現金及び預金	158,837
(2) 未収金及び未収収益	1,252,415
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	185,391
3 繰延資産	-
負債合計	11,985,990
1 固定負債	7,721,357
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,711,938
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	9,419
2 流動負債	3,139,085
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	747,574
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	247,672
(6) リース債務	91,584
(7) 一時借入金	1,320,000
(8) 未払金及び未払費用	732,255
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,125,548
(1) 長期前受金	1,795,744
(2) 長期前受金収益化累計額()	670,196
資本合計	-2,257,939
1 資本金	12,008,554
2 剰余金	-14,266,493
(1) 資本金剰余金	15,826
(2) 利益剰余金	-14,282,319
負債・資本合計	9,728,051
不良債務	794,868
実質資金不足額	794,868
資本不足額()	2,257,939
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,132,391
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,219,557	795,109
資本勘定繰入	467,731	720,031
計	1,687,288	1,515,140

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	794,868	9.9
29年度	659,071	8.5
28年度	123,573	1.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	178.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。